令和２年度第１回学校評議員会

住　所　盛岡市羽場 18-11-1
学　校　岩手県立盛岡工業高等学校
校　長　南　舘　秀　昭
電　話　019-638-3141

１　会議の名称

令和２年度第１回学校評議員会

２　会議の目的

学校運営等について地域住民代表及び地域産業代表等から幅広く意見を聞き、相互の意思疎通や協力関係を高め、地域社会に開かれた特色ある学校づくりをより一層推進する。

３　会議の日時

令和２年６月 18 日（木）13：30～14：30

４　会議の場所

盛岡工業高等学校　百年館

５　会議の出席者

(1)	評議員	川　村　博　昭	本校同窓会副会長
		熊　谷　　　司	盛岡市立飯岡中学校　校長
		坂　本　誠　一	岩手県立産業技術短期大学校　副校長
		東海林　　　敦	株式会社ミクニ　盛岡事業所長
		田　屋　千　穂	元本校ＰＴＡ３学年委員長
(2)	学校側	南　舘　秀　昭	校　長
		水　野　扶佐史	副校長
		寒河江　研　哉	副校長
		小田中　達　夫	定時制副校長
		河　内　啓　祐	事務長

６　会議の次第

(1)　開　　会
(2)　学校評議員委嘱状交付及び校長挨拶
(3)　学校概況説明
　ア　令和２年度学校経営方針並びに経営計画について（副校長）
　イ　令和２年度全日制の概況説明について（副校長）
　ウ　令和２年度定時制の概況説明について（副校長）
(4)　質疑応答、意見交換
(5)　学校評議員より提言
(6)　校長謝辞
(7)　閉　　会

７　会議の概要

(1) 学校概況説明

令和２年度学校経営方針並びに経営計画について、水野副校長及び寒河江副校長より資料に基づき説明を行った。(15 分)

その後、小田中副校長より資料に基づき説明を行った。(各５分)

(2) 質疑応答

評議員　昨年度高校総体優勝旗５本など活躍が期待される学校として、６月になって規制も緩和、また代替大会などの報道もあるが、遠征などのことも含めて現在の状況はどのようになっているのか。

学校側　規制は緩和され、練習試合等に参加できる条件が整いつつある。代替大会も各競技によって実施の有無があり、競技によっては、３年生は進路目標に向けて切り替えていった生徒もある。また、高校総体中止と判明した時点で、校長から放送で全校生徒に向けてメッセージを伝えた。

学校側　コロナの影響で統一選考日が１か月伸びたが､企業としての影響はどのようなものか｡

評議員　採用時期の遅れよりも企業としての景気の影響が大きいが、採用枠を絞らなければならない。それよりも今年度入社した社員の勤務、研修の遅れが心配である。採用試験の遅れは、本校を信頼しているのでそんなに心配はしていない。

評議員　盛工の卒業生は良い意味で、型にとらわれない社員として活躍している。どのような教育をすればそのような生徒を作り上げているか、参考としてお聞きしたい。

学校側　盛工は昔から自由な校風である。人数が多く型にはめられない、はめようがないのが大きな要素となってきたのも事実である。それが周りの工業高校とは大きく違うところだと感じる。

評議員　勉強だけでなく、部活等にて自分で考え成長する姿が、盛工の気質だと感じる。

評議員　OB として、盛工の生徒は可能性のある生徒が多い。それぞれのポイントにあったちょっとした刺激を与えるだけで伸びを期待できる。

評議員　校等集団生活での感染が予防対策はどのように講じているか。

学校側　県からの指示に基づき、ガイドラインとおり、手洗い、消毒等行っている。公共の交通機関でのマスク着用マナー等、生徒会や放送委員等通じて生徒自身で行動できるように取り組んでいる。

(3) 提　言

評議員　感染症対策など、健康が第一ですので、生徒中心にこれからもお願いしたい。

評議員　隣接している中学校として、工業高校は人気が高く、このままの学科を維持して欲しい。

評議員　産技短としても工業高校と同じで生徒確保に苦慮している。今年度から中学校教員対象の学校説明会を行う予定とのことであるが、是非、入口出口の指導を充実し、より魅力ある盛工であってほしい。

評議員　高校３年間という短い期間であるが、良い思い出を持たせてやってほしい。それが盛工の強みでもあると感じます。

評議員　３年生にとって、コロナの影響で大会中止等あると思うが、盛工らしい良い思い出を作って送り出してほしいと思う。

８　会議のまとめ

評議員の皆様からいただいたご意見やご助言は、本校の教育活動を肯定的に捉えたうえで、更なる発展・飛躍を期待するという前向きなものであった。

教職員と生徒及び保護者との更なる信頼関係の構築や、工業高校の今後の在り方について、引き続き校内外のご意見を参考にしながら、より良い教育を実践して行きたい。